

トヨタ純正 ルーバーガーニッシュピアノブラック調(フロント) (イルミ無車用)/(イルミ付車用)

取付要領書

このたびは、トヨタ純正ルーバーガーニッシュ(フロント)をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書はルーバーガーニッシュ(フロント)を取付ける場合の取付要領について記載してあります。

取付けの前に必ずお読みいただき、記載された内容に従って正しい取付けを行ってください。

特に、

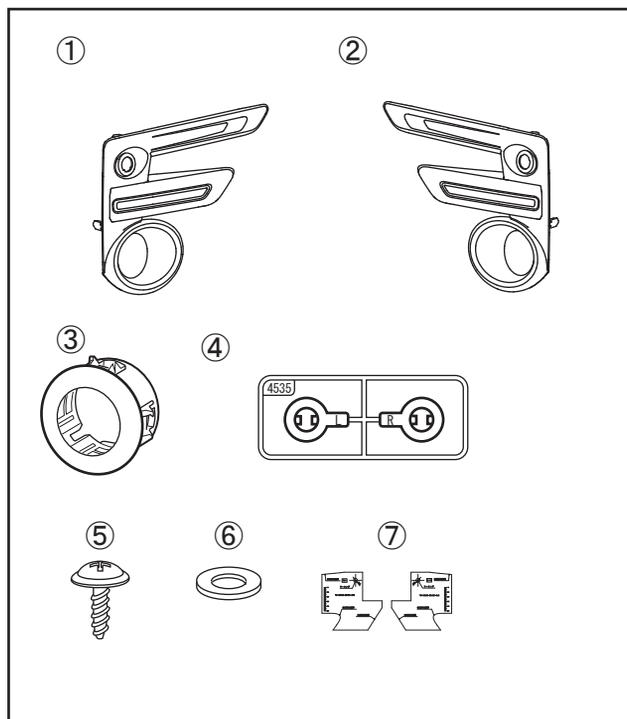
- ・ 本品を改造しての取付けは、絶対に行わないでください。
- ・ 記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合がありますのであらかじめご了承ください。

< 本書の最後に取り扱い上の注意事項を記載してありますのでお客様にお渡しの上、必ずお読みいただき、正しくご使用くださるようご説明をお願いいたします。 >

品番

品番
08401-B1430
08401-B1440

構成部品



No.	品名	個数	補修の有無
①	ルーバーガーニッシュ(フロント)RH	1	有
②	ルーバーガーニッシュ(フロント)LH	1	有
③	コーナーセンサーカバー	2	無
④	スペーサーキット	1	無
⑤	スクリュー	2	無
⑥	ワッシャー	2	無
⑦	型紙	1	無
	取付要領書 (WEB)	1	無

補修品番

品名	補修品番	構成部品
ルーバーガーニッシュ(フロント)RH(イルミ付車用)	08401-B1431	①X1③X1④X1⑤X1 ⑥X1⑦X1⑧X1
ルーバーガーニッシュ(フロント)RH(イルミ無車用)	08401-B1441	①X1③X1④X1⑤X1 ⑥X1⑦X1⑧X1
ルーバーガーニッシュ(フロント)LH(イルミ付車用)	08401-B1432	②X1③X1④X1⑤X1 ⑥X1⑦X1⑧X1
ルーバーガーニッシュ(フロント)LH(イルミ無車用)	08401-B1442	②X1③X1④X1⑤X1 ⑥X1⑦X1⑧X1

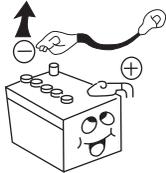
トヨタ自動車株式会社

取付上の注意事項

1. 本文中の**△注意**は必ず取付けに反映させて作業を行ってください。もし**△注意**を無視して取付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両事故につながる恐れがあります。
2. ルーバーガーニッシュ(フロント)を取付ける際は、ボデー等に傷を付けない様に、十分ご注意ください。
3. ルーバーガーニッシュ(フロント)を装着する部分の汚れ等を脱脂剤等で洗い落としてください。
4. 脱脂剤等を使用する際、火気を近づけないよう十分ご注意ください。
5. バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

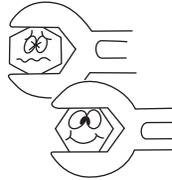
取付け前に

- バッテリーの(-)側ケーブルを外す

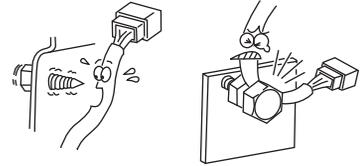


部品の取付けは

- 寸法にあった工具を使う

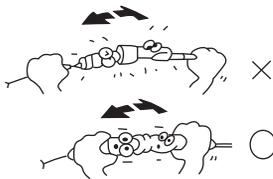


- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する

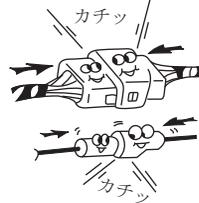


配線は

- コネクタは本体を持って外す



- コネクタは確実に接続する



- 無理に引っ張らない



取付け完了後は

- 取外した車両部品は確実に復元する

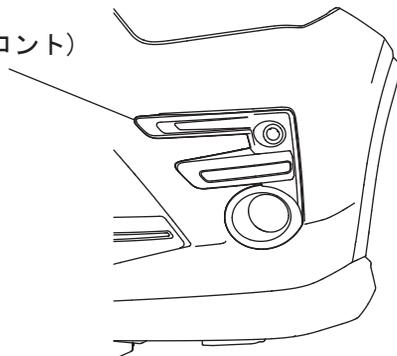


取付けに必要な工具等

マスキングテープ、電動ドリル(φ3、φ8)、六角レンチ(10mm)、クリップリムーバー、ラジオペンチ、+ドライバー、ケガキ棒、ウエス(柔らかい布)、布テープ

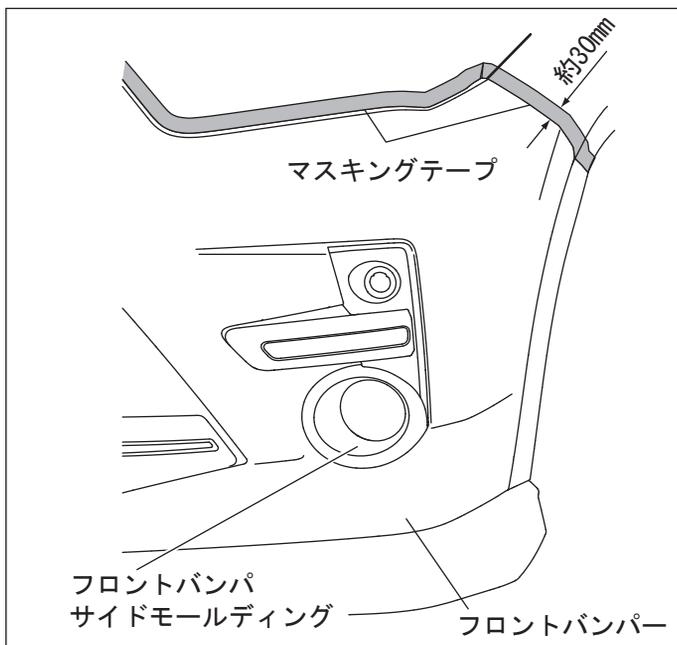
取付概要

ルーバーガーニッシュ(フロント)



取付要領

- ・この取付要領書はLH側に取付けた場合です。取付要領はRH側も共通です。
- ・説明文中、ルーバーガーニッシュ(フロント)を製品と略しますのでご注意ください。
- ・フォグランプ無、イルミネーションランプ無の取付要領を示す。
- ・フォグランプ有、イルミネーションランプ有の場合は※を参照する。



1. 取付け前準備

- (1) 左図のように、フロントバンパー外周形状に合わせヘッドライト、フェンダーパネルにマスキングテープを貼り付けます。

⚠ 注意

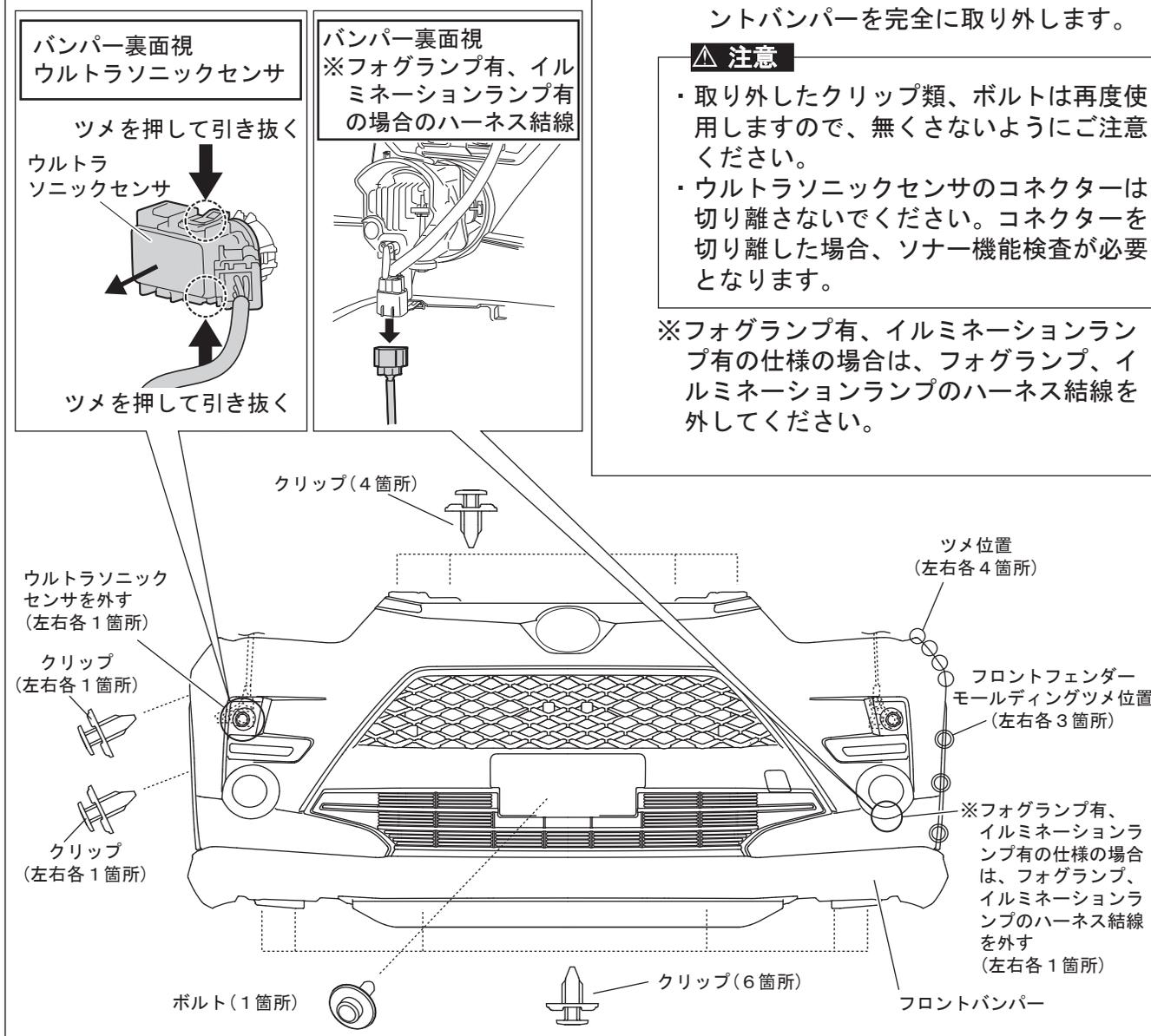
車両傷付き防止のために必ずマスキングテープを貼り付けて作業してください。

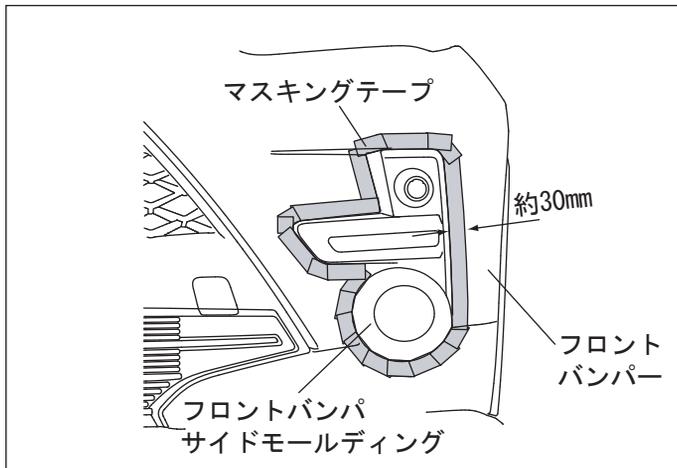
- (2) フロントバンパーのクリップ(14箇所)及びボルト(1箇所)を取り外し、両サイドのツメのかん合を外してからフロントバンパーを少しだけ取り外し、持ち上げた状態で、下図○位置のウルトラソニックセンサを外した後、フロントバンパーを完全に取り外します。

⚠ 注意

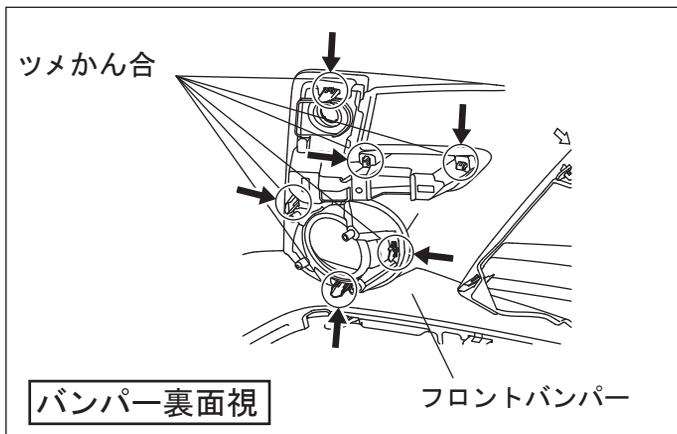
- ・取り外したクリップ類、ボルトは再度使用しますので、無くさないようにご注意ください。
- ・ウルトラソニックセンサのコネクターは切り離さないでください。コネクターを切り離した場合、ソナー機能検査が必要となります。

※フォグランプ有、イルミネーションランプ有の仕様の場合は、フォグランプ、イルミネーションランプのハーネス結線を外してください。





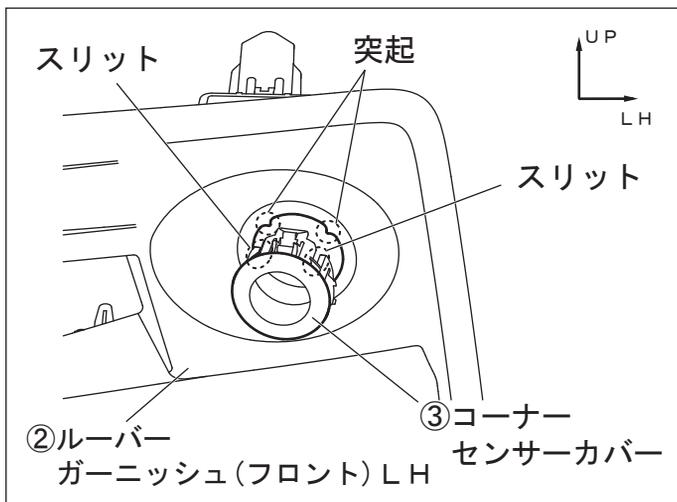
- (3) 左図を参考に、フロントバンパサイドモールディング周囲のフロントバンパーへ傷付き防止用のマスキングテープを貼り付けます。



- (4) 左図を参考にフロントバンパサイドモールディングのツメかん合（6箇所）を外し、リヤバンパーから取り外します。

△ 注意

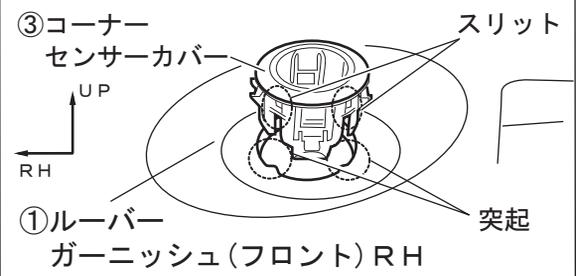
傷付き防止のため、作業する際は柔らかい布の上で行ってください。

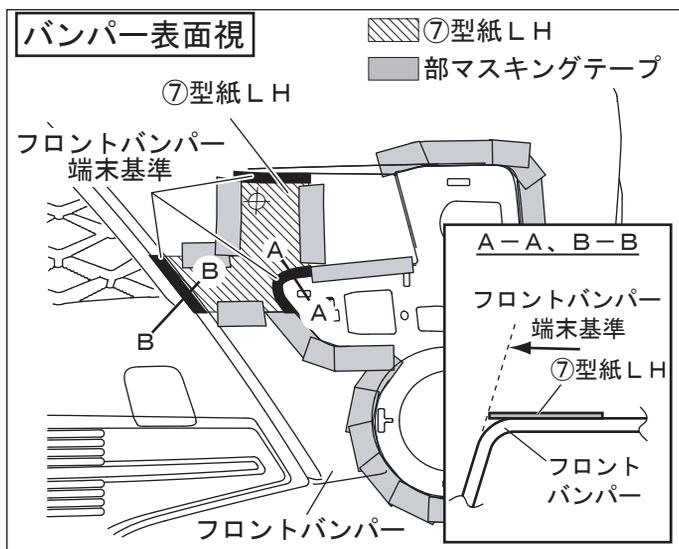


- (5) ③コーナーセンサーカバーのスリットを②製品LHの突起に合わせまっすぐに差し込みます。

△ 注意

- ・ ③コーナーセンサーカバーはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- ・ ①製品RHのスリット位置は、下図のとおり車両左側と上下が逆になります。





(6) 左図を参考に傷つき防止のマスキングテープを一部はがし、⑦型紙 L H をフロントバンパー表面の基準に合わせマスキングテープで固定します。

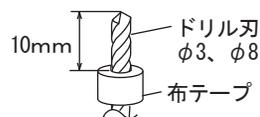
(7) ⑦型紙 L H の穴中心をケガキ棒でマーキングします。

(8) ⑦型紙 L H をはがします。

(9) 1-(7) でマーキングした穴位置を電動ドリルの $\phi 3$ で下穴を開け、 $\phi 8$ で正規穴をあけます。(1箇所)

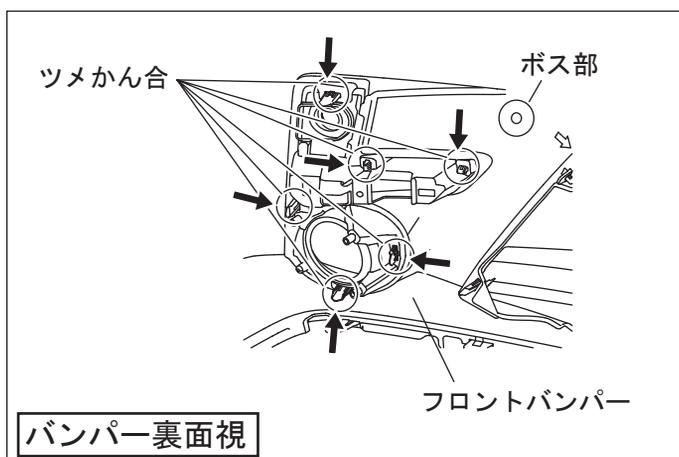
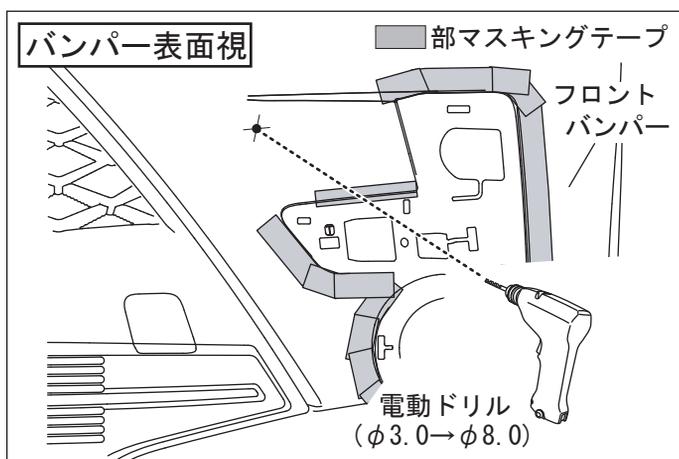
△ 注意

穴開けの際、ドリルの先端から約10mmの図示位置にストッパーとなるように布テープを巻き付けてください。



△ 注意

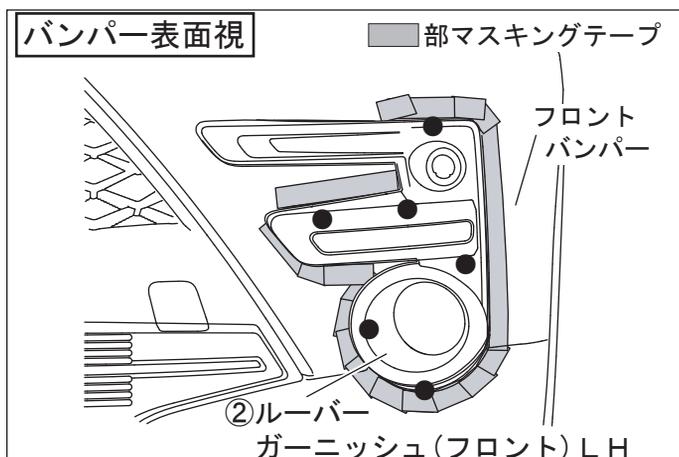
- ・電動ドリルを使用する際は、必ず保護メガネを着用してください。
- ・穴あけ作業は、穴あけ面に対して垂直に行ってください。
- ・電動ドリルに手を巻き込まれる恐れがある為、手袋等は着用しないでください。



2. 取付け

(1) フロントバンパーに②製品 L H 裏面のツメかん合 (6箇所) をフロントバンパーの取付穴及びボス部 (1箇所) を穴に合わせ、まっすぐに差し込みます。

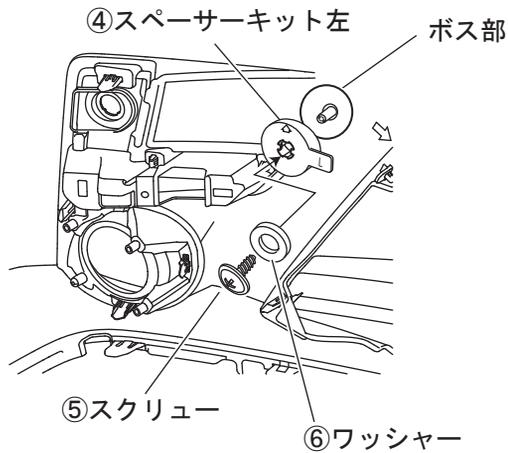
(2) 左図を参考に、●位置を押し込み、ツメかん合 (6箇所) を完全に押し込みます。



△ 注意

- ・②製品 L H をフロントバンパーに取り付ける際フロントバンパーに傷を付けないようご注意ください。
- ・ツメかん合部はカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。

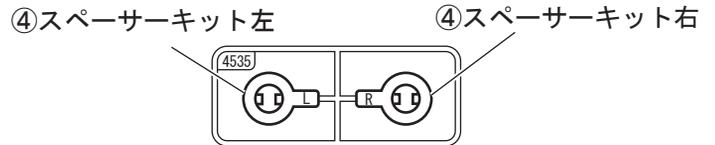
バンパー裏面視



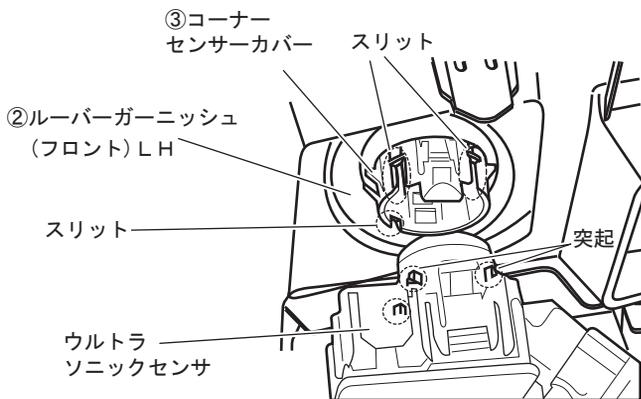
- (3) ②製品LHのボス部に④スペーサーキット左を⑤スクリュー、⑥ワッシャーにて取付け固定します。

⚠ 注意

- ・ボス、④スペーサーキットの凹凸部の向きを合わせてください。
- ・スクリュー締付けトルク：1.0 N・m



裏面視



- (4) 1- (2) で取り外したウルトラソニックセンサの突起 (3箇所) を③コーナーセンサーカバーのスリット (3箇所) に合わせ、まっすぐに差し込んでください。

⚠ 注意

ウルトラソニックセンサはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。

- (5) 車両LH側の取付けは完了となります。車両RH側も同じ要領で取付けてください。

3. フロントバンパーの復元

- (1) フロントバンパーの取り外しと逆の順番で取付けてください。

⚠ 注意

- ・ツメかん合はカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。
- ・フロントバンパーの復元の際、ハーネス類を噛み込まないようにしてください。
- ・ハーネスのコネクターはカチッと音がするまで確実に接続してください。

- (2) 1- (1)、1- (3) で貼り付けた傷付き防止用マスキングテープを全てはがしてください。

取付後の点検

1. ルーバーガーニッシュ (フロント) が車両に確実に固定されているかを確認し、再度全体を押しして確実に取付けてください。
2. バッテリー端子を接続してください。
3. メーター内インジゲータの点灯とその他の機器が正常に動作することを確認してください。
4. 車両の機器部品で初期設定の必要なものは初期設定を行ってください。

お手入れについて

汚れた場合はスポンジ等に脱脂剤等を付けて水洗いし、水分をウエス等で拭き取ってください。

取扱上の注意

1. 汚れを落とす場合は脱脂剤等を使用し、シンナー、酸、アルカリ等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。